

軒先R曲げ工法

美しい軒先ライン

折板やルーフェッキの軒先部分を滝状にR曲げで並んだ様相が、フレキシブルで美しい景観に創り上げます。

軒先の高付加価値性

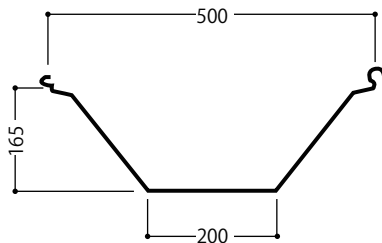
風雪や雨の吹き込み、軒先凍結などを防ぎ優れた防水、防風機能を発揮します。また、軒先の空間は換気口やシャッターボックス、雨樋などの取付けができます。



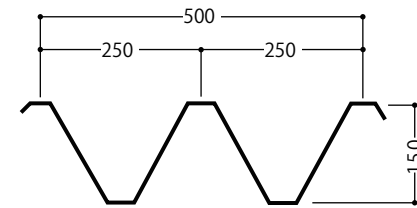
高松市立 ゲートボール場

●使用する屋根形状

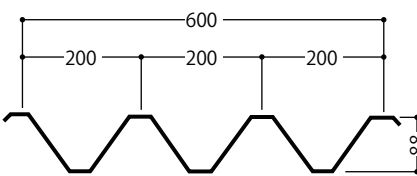
●ハゼV-500



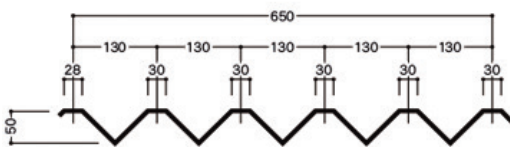
●重ね折板R-150



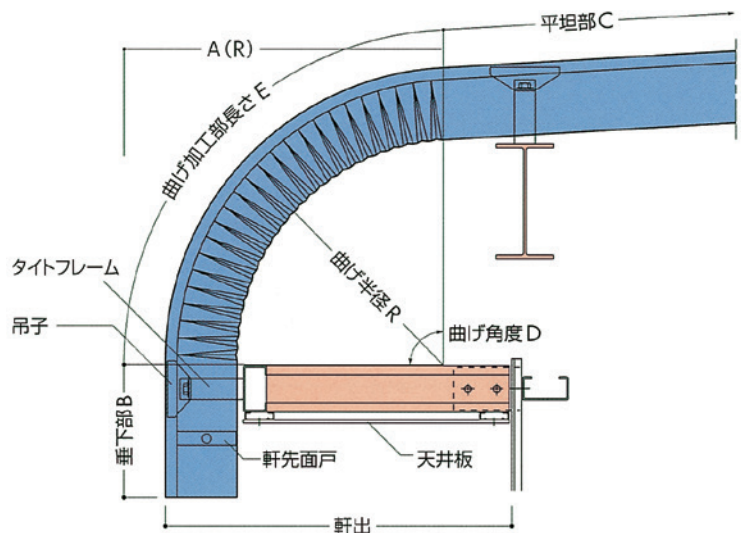
●重ね折板R-88



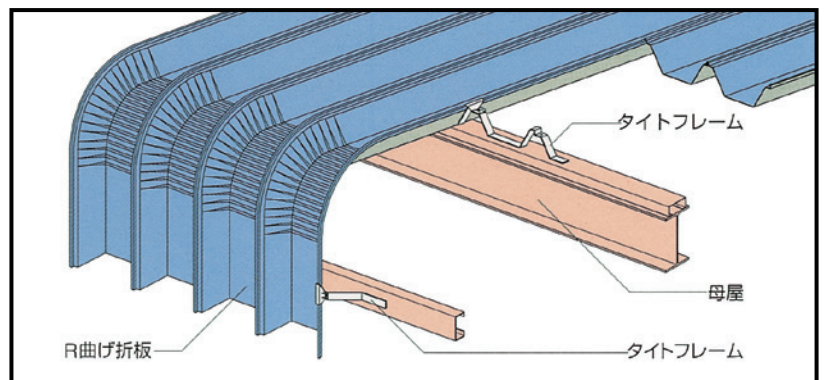
●重ね折板R-50



●断面形状(参考)



●構成図



●設計参考資料

屋根形状名	板厚	山高	基本曲げ半径A (R)	曲げ加工部E	曲げ角度範囲D	垂下部B
V500	0.6~1.0 (1.2) mm	155mm	755 (600) mm	1186mm	90° (MAX110°)	100mm以上
R150	0.6~1.0mm	150mm	550 (400) mm	864mm	90° (MAX110°)	30mm以上
R88	0.5~1.0mm	88mm	450 (362) mm	707mm	90° (MAX110°)	30mm以上
R50	0.5~0.6mm	50mm	400 (350) mm	396mm	90° (MAX110°)	30mm以上

※R50、R88に関しては、平坦部Cが最低2,300mm必要となります。2,300mm以下をご希望の場合は、別途お問い合わせください。